

■ 発言要旨

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
1	<p>令和元年度時点での令和3年度の児童数の推計値が適正規模を満たしていないため統合という計画ですが、この会で決定をするわけではなくて、実際に令和3年度になったときの人数を見て本決定ということですか。それまでは統合に向けての実質的な準備には入らなくて、令和3年度に正式決定してから準備が始まるということですか。</p> <p>計画は正に言われる通りで、将来の推計も見て計画を立てております。令和3年5月時点の児童数と将来的な推計も含めて、四万十町としての望ましい規模に満たない場合には、小学校では令和6年4月に、中学校では令和3年4月に統合となる計画です。令和3年5月の時点で計画通りの方向に行くとなると、それに向けて今現在でも交流的な部分は幾分かしているところもあろうかと思いますが、小学校の交流、小中の連携教育の中でもやっておりますが、そういうところを充実させていこうと思います。</p>
2	<p>令和3年5月に本決定した後に話し合っ、新しい学校にはこういう設備がいるとか、こういった施設を作ってほしいとか、ここを改修してほしいとかいった話が出たときには、令和6年に間に合いますか。</p> <p>今日の説明会を持って説明は終わりではなくて、また何回か足を運んで来るようになります。それで、令和3年まで知りませんではなく、何度か意見交換といいましょうか、保護者の皆様とお話をしながら、令和3年5月の時点で方向が見えた時点でより密な話もしていかなければならないと思っておりますので、話の中で気になるところは声を聴かせていただければと思います。</p>
3	<p>令和3年度までに、踏み込んだ話をしていく用意があるよということですか。</p> <p>声を聞かせていただいて、なかなか厳しいというところについては、お返事をしなければならないところもあるかもしれませんが、やはり考えていかなければいけないというところで、皆さんの想いを聞かせていただきながら、どういった形で推移していくかということをも町も感じ取りながら進めていきたいと思っております。</p> <p>言われるように、間際に来てバタバタすることはどうかと思いますし、また仮の話ではありますが、令和6年の4月を待たずして早い段階でこういうところを整えて早く統合してくれという話が出れば、統合時期の前倒しも早い時点で考えていくことも可能ですので、そういった点についても意見交換は大事でなかろうかと思えます。</p>
	<p>私は県外から移住してきました。私は四万十町で子育てができてすごく幸せだと思っています。自然が全然きれいではないところで育ったものですので、川とかでキラキラ輝いて遊んでいる子どもを見ると本当にここで子どもを育てられて幸せだと思うんですけど、小学校の特色を見た感じだと、私の主観ではありますが、そんなにすごく魅力的だとは思わないんです。作物作りなんかは、家が農家をしていることもありまして、地元の野菜を作ることは良いなと思うんですが、やっぱり全体的にこれを見て、すごく魅力的だなと思うところが正直なくて、なんでこんな失礼なことを言うかという、この人数を見ると危機的な状況だと皆さん思っらっしゃると思うんですけど、例えば子供がここに来て、ある程度大きくなって学校へ行き出してここに居続けられないということで移住していく家族も実際にいるんですよね。小さいうちはここでよかったと思うんですが、教育が始まったときにやっぱりここじゃだめだということで出て行ってしまいう人が現実において、だからこの危機的な人数をなんとかしていくのは、例えば教育が魅力的だという理由で移住してくる方はいると思うんですよ。他の地域でも、一時は消滅の危機だったけど、こういう教育を始めたならそれに飛びついて移住してきた家族がいてという事例は結構といったら言い過ぎかもしれませんが、実際あると思うんで、この教育分野から町を盛り立てていっちゃおうくらいのもすごい大胆なことができたらいいなと思うんです。</p> <p>例えば他の土地で成功した事例を見るとか選択肢の中に入れてみてはどうでしょうか。</p>

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
4	<p>本当に大胆な魅力ということで、魅力・特色ある学校づくりということで事務局より説明させていただきましたが、いろいろな取組を昭和小・十川小で行っております。十和地域のどちらかといえば十川小になるのですが、ICT教育というのが、総務省の絆プロジェクトという事業でICTを取り入れて、モデル的に県内でも比較的早い段階でICT教育に取り組んできた経過があります。小学校へ機器は入れておりましたが、中学校や他の小学校へ入れられてなかったですので、上手に繋がっていませんという反省点もありますが、十和地域においては、ICTに力を入れながら、それぞれの小学校の良さを取り入れて教育が出来ていったらいいかなと思っております。それと大きなところで大胆なところで町も考えながらいるところにおいて、大胆ではないかもしれませんが、子どもたちにしっかりと体験的な活動をというところも、小学校のうちにしていただきたいということで、既に体験活動はされておる児童は十和地域に多いかもしれませんが、四万十町内においても全児童が小学生のうちに、四万十町の魅力を感じ取っていただきたいし、ふるさとの良さも感じ取っていただきたいところで、だいたい100人くらい、例えば町内の小学4年生、5年生、6年生どの学年になるかは分かりませんが、1回は四万十川の体験学習そして体験活動をしていただきたいというところでの仕組みづくりをしております、来年度から取組も考えております。来年度から始まりということになりますので、そのことによって、どう進めていくか、どう中学校や高校へ繋げていくか、そういうところを考えているところであります、四万十町の良さを出しながら、子どもたちがしっかりとふるさとで育っていくと、十和地域の良さを子どもたちに伝えながら育てていきたいなど、それには、ICTというところ、四万十町内でもモデル的に行いながら進めていけたらいいかなと思っております。</p> <p>町も1度示したらおしまいではなくて、将来子どもたちが、今から先の時代を担っていく、切り拓いていくということに向けて、付ける力を付けて、魅力ある取組というところは見つけながらも進めていきたいと思っております。</p>
	ICTがどういうものなのか教えてください。
5	<p>ICTは、現在学校では電子黒板、デジタル教科書、教科書自体がデジタル化されてそれが画面に映し出されます。スマホみたいな感覚で、一番興味がわくのが理科の授業で何か葉っぱの中に隠れている虫が何かとかいうことを画面の中で、葉っぱの画像が出て、ちょっとお尻の部分であるとか、そういったところが上手に見え隠れするとか、子どもたちの興味関心を引くとか。</p>
	それは、おいおい公立の学校で導入されていくものなのですか。
6	<p>いま、町内では導入しています。基本的には各教室に1台あると思いますが、授業の中で効果的に使っていただくと、それとタブレット端末も入れておまして。</p>
	<p>私が申し上げたかったのは、私たちは大人になってからでも、誰かに教わらなくてもスマホをなんだかんだ使えるようになるのだから、そんなものが学校にあっても、それは文部科学省の方針なので仕方ないかもしれませんが、そんなものがあっても魅力にはならないと思うんです。画面をいじって虫が出てくるんじゃないかと、この土地で出来ることと云ったら、外に行き、本物の虫に触ることの方に魅力を感じる家族というのは少なからずいると思います。そういった方が田舎に移住してくると思いますので、この土地の良いところを活かすのであれば、ICTは都会でもできますし、機械の操作だったら、覚えなくなったらいつでも覚えられるものですから、それは別にどうでもいって言うたら言い過ぎですけど、それじゃないところを見てもらえればいいと思います。</p>
7	<p>地域の魅力を大いに出して良さを打ち出すべきということだと思いますので、町もICTに特化してということではなしに、逆に活用の仕方ですいろいろな繋がり、そういった体験をしているところとの繋がりも画面を通してでもできるし、やり取りもできると思います。上手に活用していただければと思います。ガチガチで都会のような形で使いこなせとかいうことではなしに効果的に遠隔的な操作によって、やり取りが同じような規模の学校と、あるいは大きな学校と、またより小さい学校と、学校だけではなしに、他にも団体や企業等とのやり取りもできるかと思っておりますので、上手に活用していただければと思います。</p> <p>その上で、ふるさとを愛し志を持ち地域に貢献できる子どもたちを育てたい。ふるさとを愛しということは、それだけ地域の中で育てていただきたいという想いがありますので、そういうところは先ほどの体験的な活動の話もしましたが、あえて町が仕組みでいなくても十和地域、昭和は昭和で環境が良いところもありますし、そういうところは大きに育てていく、また地域の力も借りながら、保護者の皆さんもそうですが、それはどんどん打ち出していきような形は引き続き魅力づくりということで出していけたらいいかなと思っております。</p>

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
8	<p>学校統合については、子どもの教育のためということであれば、仕方がないのかなと思います。校舎位置は十川小とするとのことですが、校舎位置を昭和小にしてはどうかと個人的には思います。校舎は昭和42年と48年でだいたい同じくらいですが、体育館とプールについては、十川は中学校と共用ですよね。プールは夏季だけですが、体育館であれば、中学校が利用していればその時間は小学校は利用できないですよね。そうすると使用したい時間に使用できないのかなと思います。昭和小にすれば、新しい体育館もありますし、使いたいときに使えるし、そういったメリットもあるかなと思います。</p> <p>昭和の地域ですが、昭和中が統合により無くなって、昭和小も統合により十川へ行ってしまうと昭和地域に子どもの声が無くなって、寂しくなるところが気になっているところですよ。十川は役場もあって、農協もあって、学校もあって、すごく賑やかですが、地域対策はどのように考えていますか。</p> <p>実際言われるところは、中学校が十川へということで、それで小学校もということになると言われるところはあろうかと思えます。計画を立てていく段階の中で、審議会へ諮問をして答申をいただいた中においては、統合した後においても、地域の方々も関わって関心も持っていただけるようなそういった組織作り、地域学校協働本部という形ではありますが、みんなが関わって、現計画では十川小を校舎位置ということで定めさせていただいておりますので、それはひとつそれとさせていただきます。寂しくなっていくという部分については、確かにいま昭和に小学校があって子どもたちの声もあると思えます。関わりというところを、十和地域としての関わりということにつきましては、地域学校協働本部、要は地域のいろいろな組織の方々へ目や足を向けていただいて、関わりを持ちながら十和地域のひとつの小学校、中学校としての学校ができてきたんだよという思いを持っていただければいいかなと思っております。十和はひとつぜよと、大正も1小1中ということで同じような状況にありますが、旧の町村単位にはなりますが、その中で地域の絆、想いで、子どもたちを育てていくという部分においては、広がりが出てくるなど、みんなが目をむけていただいて見ていただく、十川へ行ったから知らんぜよではなしに、自分たちも学校へ行くことはないねではなしに、先ほどもありましたが、魅力づくりも含めて十和ではひとつの小学校、中学校をみんなですっかりと支えていくというような形に学校の在り方も含め考えていかなければならないと思っております。</p> <p>納得がいきたい部分はあろうかと思えますが、そういう思いではいるということは分かっていたいただければと思います。</p>
9	<p>国の方でコミュニティスクールをここ2年間で全国へそれを標準化させるような話が出ていて、県から町へもそういった話が下りてきているという話を聞きました。適正配置とコミュニティスクール化はどういうふうに進めていきますか。</p> <p>コミュニティスクールについては、努力義務ということになっております。絶対にがなんでもどうしてもということではありませんが、努力義務として作っていただくよということですよ。3ページの「保護者・地域住民の理解と協力」の中に「地域の協力の下で、学校それぞれに魅力のある再組織化を積極的に進めます。(政策の提案及び人材への配慮、教員等への研修等の機会、コミュニティスクール化等を積極的に検討します。)」ということで、検討というよりは、コミュニティスクールは統合という一つの形が出てくる中でそれは設置をしたいということだと思っております。努力義務ではありませんが、設置という方向で進めていく予定です。</p>
10	<p>統合は免れないとして、保護者の皆さんスクールバスの件が一番気になっていると思えますが、時間・便等になりますが、スクールバスの路線の案がありますが、統合した時には無くなってくる停留所もあると思えますし、新たに停留所を設置する必要もあろうかと思えます。その辺に一番力を入れていただきたいと思えます。</p> <p>基本的には、通学バスの案として示しておりますが、入学して新たに停留所を設置したり、反対に卒業してその停留所で乗るお子さんはいなくなったりといったことは毎年あると思えますし、それに応じて路線の見直しは図らなければならないと思えます。それは現在でもそうであり、路線等を見直しを行っているところですよ。取りこぼしとかバスに乗れなくなるとかいったことがないように配慮をしていきたいと考えております。これは十和地域に限ったものではなく、町内どこでもそうです。</p>
11	<p>所要時間は、案で示してある時間より増えても構わないということですか。</p> <p>案ということで、40分以内になるべく時間を抑えたいなということで記載しておりますが、昭和小学校区からは2路線を考えていますが、場合によっては3路線にするとか、ルートを見直すとかいうことがあるのではないかと考えます。</p>

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
12	<p>自宅からバス停まで何メートル以上離れないようにする等がありますか。親御さんが心配してバス停まで行く場合もあるかと思いますが、道路が狭いところもあるので、バスで入ると時間的に大変だし、ちょっと危ないなというところについては、それでも頑張って家から何メートルのところは停留所として迎えに行きます。行く努力をしますよというようなことはありますか。</p> <p>そういったご意見あると思います。危険であつたらいけませんのでルートを設定するには、子どもの足のことも考えたり、危険度も考えたりして設定についてはいろいろな話し合いをして決めていきたいと思います。いろいろ地区によって違うと思いますので、その現状を把握しながら要望を取り入れたいと思っています。</p>
13	<p>例えばですが、台風が来る場合は学校が臨時休校になるかと思いますが、災害で道路が通れなくなった場合はルートが変更になると思いますが、臨機応変に対応していただけますか。</p> <p>そのことは、この地域だけではなくて、四万十町全体で統合計画を出しておりまして、そういったことは他の地区でもありますので、そういったところも意見を聞きながらルートを設定して、例えば台風の場合はどうするというのを決めていきたいと思っています。</p>
14	<p>放課後子ども教室は十川へまとめるような形になるかと思いますが、16時30分のスクールバスに乗れない子で十川の放課後子ども教室に行き、保育園は昭和にあるので、家庭によっては、親御さんのお迎えの負担が増すのではないかと思います。 16時30分以降の便をつくらうといったことは可能でしょうか。</p> <p>スクールバスの件につきましては、協議して検討を加えて設定しなければならないんですが、放課後子ども教室については、人数さえ揃えれば十川へ集約する必要はなくて、こちらの方でも運営ができれば、できないことはありません。ただ、お仕事の関係等ありまして、いろいろな制約があるかと思いますが、いまは昭和と十川にあるんでしたら、それを一つにまとめる必要は必ずしもありません。選択の余地はあると思います。実際にそういう運用をしている学校もあります。そこも十分協議が必要かと思っています。</p>
15	<p>町内の放課後子ども教室の代表者で話をする機会があったときに、適正配置はどうなるんだろうという話も出ました。子どもたちは窪川小へ通っているけれども、休校になった口神ノ川小の体育館を利用してやっておられるということで、メリットやデメリットを聞かせていただいたのですが、学校との連携がなかなか難しくなってくる面もあるので、保護者の方に決めていただくことではありますが、できればやっている学校に放課後子ども教室をまとめた方がいいように思います。窪川小のように、まとめてしまうと運営できないという規模になってしまうと、それは別問題かと思いますが、昭和小・十川小くらいの規模でしたら、まとめた方がよいと思います。</p> <p>-</p>
16	<p>十川の放課後子ども教室は、まあまあいっぱい的人数がいます。</p> <p>-</p>
17	<p>私としては、昭和に放課後子ども教室を残していただきたいです。</p> <p>-</p>
18	<p>統合になると昭和の地域の方は、必然的に全員放課後残らないといけませんよね。いまは近所だと家に帰って放課後子ども教室は利用しないお子さんもいますが、スクールバスの都合もありますね。</p> <p>統合した場合には、スクールバスと放課後子ども教室、これからますますお仕事をされる保護者の方いらっしゃると思いますので、重要になると思います。協議して進めていかなければならないと思っています。具体的にこうというのを、いま示してもいろいろとご意見があるかと思いますが、いままでご意見いただいたことや、今後こういった会に出る意見については、積み重ねていきたいと思っています。</p>
19	<p>中学校の保護者です。昭和地区の親御さんは部活動等で土日にスクールバスが出ないので、送迎の負担がかなりありますが、小学校もスクールバスになると、もっと送迎が必要になってくるかと思うので、便を増やしてもらったり、もっとスクールバスの充実を図っていただきたいです。</p> <p>スクールバスは大事な事ですので、考えなければいけないわけですが、例えば小学1年生は入学した時には早く帰りますよね。そういったところは別に便が必要ですよね。そういったことも含めて検討してみたいと思います。運転手の確保も重要な課題の一つですので、それも含めて皆さんのご意見を頂戴しながら考えていきたいと思っています。</p>
20	<p>子どもが居残りして、最終のバスに乗れなかった場合等の配慮をお願いしたいです。</p> <p>-</p>

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
21	<p>スクールバスの充実是不可欠であると思います。ご存知かもしれませんが、西土佐地域の小学校を1本にしたときに、スクールバスの充実と学童保育(当初は公設公営、現在は民営になっているかもしれませんが)を統合の条件にしていました。</p> <p>放課後にスクールバスで帰っている子は全員保育するということで、一番多い時は70数名が一つの建物の中にいたのですが、それが統合の条件だったそうで学童がスクールバスの子たちの必ず行く場所になっていました。学童の前の時間帯にも便はあったと思いますが利用者が少なかったので、実質は学童が終わった後の便の利用者が多かったです。親御さんとしては、お仕事をされている方が多いですので、ギリギリまで預かっていただいて良いということでした。小学1年生だけは早く帰宅させてほしいという声がありましたので、4~6月辺りは早めの便があったと思います。</p> <p>学童が終わる時刻にスクールバスの便がありましたが、それ以上の学童保育を望む場合は保護者に迎えに来てもらうということでした。それは西土佐の遠い地域の保護者の方でも同様でした。</p>
	<p>学童保育を十川へ一本化するのと、昭和と十川の2つに分かれる場合とでは、スクールバスの設定時間が違ってくるとと思いますので、スクールバスの最終便を何時にするのかも大事だと思います。路線バスもそうですが、本数が多ければ解決する話なんですけど、どこまで本数を増やせれるのかということも協議しなければなりませんので、そこも踏まえて設定をしなければならぬかなと思っています。学童保育をどうするのかということ、こっちにするのであれば早くこっちに帰ってくる方がいいですよ。一本化するのであれば、遅い方がいいという方もいらっしゃるし、なるべく早くという方もいらっしゃるの、そしたら2便出してやということになるんですけど、それが可能かどうかということも含めて議論を重ねなければなりません。</p>
22	<p>放課後子ども教室ですが、例えば十川へ行くけれども昭和の子ども教室は残すとなった場合に、十川の子ども教室へは昭和の子は登録してなくて、スクールバスで帰ってくるようになると思いますが、スクールバスの発車時刻までは学校で遊びますよね。そうすると、十川の子ども教室の先生たちが見てるようなことになってしまいますよね。もちろん見る義務はありませんが、昭和では、例えば屋外で、子ども教室に来ている子は2名ですが、下校までいる子は10数名とかということもあります。そういうことが日常化してしまうのではないかと思います。もし、昭和を残すのであれば、低学年用の早い便が逆に16時30分より前にあった方がいいのではないかと思います。</p>
	-
23	<p>ないといけないと思います。十川の学童の方に、ついでにというわけにもいきませんし、学校が早く帰る1年生2年生を教職員数からいけば別に面倒を見るということではできません。西土佐では学童へ一度行った子供は学校に戻ってこないというルールがありました。</p> <p>安全管理上は、台風とかインフルエンザが流行した場合に、今日は学童はなしとかいうことがあるので、学童が2箇所に分かれるよりは学校が動いている地域にある方が、安全管理上望ましいと思います。</p>
	<p>議論を重ねなければならない項目であると思います。この地域だけでなく、四万十町全体でこのことがありますので、他の地域の意見も参考にして案を作りたいと思います。</p>
24	<p>夕方の便だけでなく、朝の便も配慮していただきたいです。十川中で朝練がある場合に、スクールバスでは間に合わなくて、大会が近いと子どもの希望で朝練には連れていっている状況ですので、朝の増便も検討していただきたいです。</p> <p>今は、朝7時くらいに連れていっている状況で、連れていける家庭は良いのですが。</p>
	<p>部活動については、国からガイドラインも示されて県も町も出ているのですが、そういった絡みもありまして、在り方も含めて検討しているところですので、ご意見として伺っておきます。</p>
25	<p>中学生がいまして、通学する際に停留所が学校前にしかなかったんですよ。毎日2kmを自転車わざわざそこまで来てそこからバスに乗っていくのですが、冬季に部活が終わると真っ暗になるので、バスがうちの集落を回ってもらうようお願いはしたのですが、道路幅が狭いので対応しかねるとのことでした。できれば回っていただきたいです。雨天時は自転車に乗れないので停留所まで送って、そこから会社へ出勤してということも多々ありますので、帰りもそうですが細い道でもバスで来ていただければと思います。</p>
	-
26	<p>人数的には、29人乗りのバスでなくても一回り小さい車でも乗車できると思うんですよ。保護者が停留所まで車で送っていったというのを続けてきてはいるのですが、家の近くに来ていただければともありがたいです。</p>
	<p>すぐに解決するかは分かりませんが、ご意見として承っておきたいです。ご意見をいただかないと分からないこともありますので、ご意見ありがとうございました。</p>

No.	上段(質問等) / 下段(回答)
27	<p>学校区がありますよね。学校区内の出身者はその学校へ必ず行かなければなりませんか。十和の出身者は十和の小中学校、大正の方は大正の小中学校というように。</p> <p>そうです。そこに住んでいらっしゃる方は、その校区としている学校へ就学するというのが基本です。ただし、家に帰ってきて仕事の関係などで見る人がいないという場合は保護者がお勤めのところの学校へ行ける場合もあります。それは教育委員会に諮って、ちゃんとした理由があって認められれば校区外就学といいますが、そういう制度もあります。基本的には住んでいる学校のところへ通ってもらうのが原則です。いろいろな事情があって、他の学校へ就学する場合は教育委員会で諮って承認を得たら行けるということです。その場合、通学については保護者の送り迎えということになります。学校統合して遠くなった場合はスクールバスを走らせるのですが、校区外については事情があって自分で行くわけですので、保護者をお願いをしている現状です。</p>
28	<p>中学校をみると、中学校それぞれに色があって、大正の子でも十川中へ行きたいとか、十川の子が窪川中の取組に引かれてということもあるのかなということで、その手続きはどうなりますか。</p> <p>中学校であれば部活動ですね。この部活動があるから行きたいんだということになったら、校区外の就学を認めておるところです。ただ、送り迎えは保護者をお願いをするということです。もしくは自分でお金を払って公共交通を利用してもらう方法もあります。</p>
29	<p>教育委員会事務局に申請をして、許可をもらわないといけないということですね。</p> <p>そうです。</p>
30	<p>昭和小は魅力の一つとして金管バンドを言われてますよね。今年度から音楽祭が大正と合同になったので毎年大正中の素晴らしいジャズバンドを聴くことを繰り返していくと、十川中で野球やバレーをするよりも、大正中へ行きたいんだという子どもが出てくると十川中がジリ貧になってくるのではないかと思います。</p> <p>部活動を理由に中学校を選択しないような中学校同士の連携や教育委員会としての対策はありますか。</p> <p>金管バンドも先日の四万十川ウルトラマラソンでお世話になりましたが、子どもたちがせっかくやりよって、あっさり言う中学校へ行くと切れてしまうかなというところで、大正中ではジャズをしているというところではありますが、いろいろな考え方があろうかとは思いますが、十川中でそれが続いていくような形が取れば一番良いわけですが、そのあたりが、クラブの方も部活の取組をどうしていくかということになるかと思っておりますので、やりましようと言えればよいわけですが、金管バンドを通して自信をつけていった子どもたちが何かの形で楽器に触れるとか、音楽に触れる機会が部活でなくてもそういった機会があればいいかなと思っております。</p>
31	<p style="text-align: center;">-</p> <p>小学校を含めて、いろいろなスポーツや部活動、自分の趣味なんかをやっていただきたい。自分の好きなことをやって、興味関心でどんどん個性を伸ばしていただければいいんですけど、いかんせん集団スポーツで十川中はやっている関係で野球とバレーという形で行っています。実際、プロ野球を目指すとかプロ選手を目指す方は別として、運動ってやっぱり必要なことだと思います。それをするとき、運動が嫌いな子は読書とか勉強とかあるいは金管バンドもそうでしょうが、そういうふうな方向へ向かうのかなと思うのですが、中学校の時期というのは小学校も含めてですが、体力を付けることがものすごく大事だと思います。いろいろなスポーツを経験したうえで、例えばいままで興味がなかった野球・バレーあるいは陸上でもやり始めておもしろくなったという子もいますし、実際につらいという子もいると思います。でも、みんな協力してやっていくということで、そういうつらい思いをしながらやったことが将来の経験に繋がるという点でいうと、ほとんどの生徒が部活動に入っていますので、みんなが協力してやっていっているということに意味があるのかなと思います。形としては、今の形を残していきたいなと思っています。ただし、どうしてもできないとか、学校へ来れないほど練習が嫌やというような状況になった場合は、それは考えていかなければならないと思いますが、子どもたちが積極的に動ける環境がありますので、今の形を継続できるうちはしたいなと思っています。</p> <p>3ページに「地域性」という項目があります。地域性というのをこの計画では大切にしております。というのは、四万十町は一つかもしれませんが、3つの町村が一緒になってできた町ですので、それぞれ窪川・大正・十和の一つ一つの地域を大切にしていきたいということで、十和と大正を統合して一つにしたらいけないかと、数が少なくなったら一緒にしたらいけないかという意見もあろうかと思いますが、そうではなくて、旧の3町村では、それぞれでしっかり学校は残していくという考えがあるわけです。ですので、先ほど申し上げましたように十和であれば、十川中へ行っていただきたいというのが、教育委員会としての想いです。各地域に1校は残そうと決めているわけですので、是非とも魅力ある学校づくりをしていただいて、こちらの学校へ就学していただきたいという想いです。</p>